

# 課題乗り越え未来へ

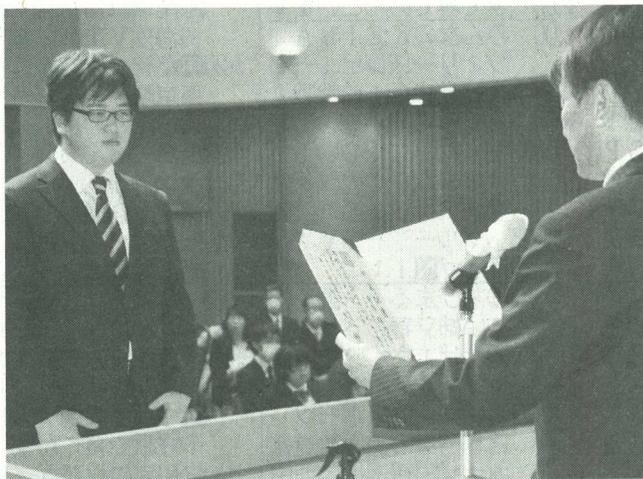
## 第一学院高 感謝込めスピーチ

単位制・通信制高校の第一学院高等学校盛岡キャンパス（桑江良章キャンパス長、盛岡市大通3丁目）の卒業式が14日、同市中ノ橋通1丁目のプラザおでついで開かれた。さまざまな課題を乗り越え、この日を迎えた卒業生が晴れ晴れとした表情で、感謝の言葉や目標を語った。

式には卒業生45人のうち40人が出席。父母らが見守る中、壇上でスピーチし「支えてくれた両親、先生、仲間」に感謝したい、「たくさん成長の場を用意してもらった」「つらいことを乗り越える力をこの学校で身に付けることができた」など卒業への思いを語った。桑江キャンパス長は「自分のためだけでなく、他の人のために活

躍できる人になってください。人にはない経験をしたからこそ、人の痛みが分かる生き方を」と式辞。一人ひとりに卒業証書を手渡した。

卒業生の有原隆乃介さん（20）「盛岡市はIT関係の専門学校に進学する。自分のできることで社会や地域に貢献していきたい」と決意した。阿部紗弥花さん（18）「花巻市は第一学院のキャリアデザインコースで学習を続けながら声優養成学校への進学を目指す。学校に行けない時期もあったといい「声優という仕事を通して、困っている人に自分の体験や得たことを発信できれば」と話した。第一学院は、不登校



桑江キャンパス長から卒業証書が授与される卒業生

や高校中退などを経験した生徒が多く在籍。希望進路の実現に向け、それぞれのペースで学んでいる。大阪市のウィザス（生駒富男代表）が運営し、本校は茨城県高萩市、兵庫県養父市。全国に48キャンパスを構える。